

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
特定非営利活動法人SIDS家族の会	リーフレット「小さな灯を守って」	母乳で育てる、うつぶせ寝を避ける	妊婦	300	随時	リーフレット「胎動カウント」	死産を減らすため胎動カウントで自己点検	一般（ホームページからダウンロード可能）	500	常時
						リーフレット「小さな灯を守って」	母乳で育てる、うつぶせ寝を避ける	妊婦	200	随時
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会	母子保健・福祉従事者対象研修会「発達障害児の早期発見と支援」「子どもの心の診療医研修会」「周産期医療研修会」等	母子保健・福祉従事者の資質向上	保健師、助産師、看護師、医師、保育士、検査技術者等	1362	19	母子保健・福祉従事者対象研修会「発達障害児の早期発見と支援」「子どもの心の診療医研修会」「周産期医療研修会」等	母子保健・福祉従事者の資質向上	保健師、助産師、看護師、医師、保育士、検査技術者等	1600	19
	愛育病院における「日本型」セミオープンシステム、セミオープンシステム	産婦人科の地域医療機関との連携による周産期医療体制の強化				愛育病院における「日本型」セミオープンシステム、セミオープンシステム	産婦人科の地域医療機関との連携による周産期医療体制の強化			
	日本子ども家庭総合研究所における研究	子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行い、その成果を研究紀要にて発表する。 (研究テーマ:家庭的保育のあり方に関する研究、母子の食生活支援に関する研究 他)	政府機関、地方自治体、児童相談所、保健所、研究・教育機関他			日本子ども家庭総合研究所における研究	子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行い、その成果を研究紀要にて発表する。 (研究テーマ:家庭的保育のあり方に関する研究、母子の食生活支援に関する研究 他)	政府機関、地方自治体、児童相談所、保健所、研究・教育機関他		
	情報提供	ウェブサイト「愛育ねっと」「母子保健情報」の発行(年2回) 「日本子ども資料年鑑2012」の編集	子ども家庭福祉関係の機関、研究者等 母子保健関係の機関、研究者等			情報提供	ウェブサイト「愛育ねっと」「母子保健情報」の発行(年2回) 「日本子ども資料年鑑2011」の編集	子ども家庭福祉関係の機関、研究者等 母子保健関係の機関、研究者等		
全国保健所長会	地域保健総合推進事業(全国保健所長会協力事業)「地域における低出生体重児予防要因に関する検討事業」	地域における低体重児予防のための介入要因の検討を行なった。			地域保健総合推進事業(全国保健所長会協力事業)「地域における低出生体重児予防要因に関する検討事業」	地域における妊娠前からの、低出生体重児予防のための介入要因の検討を行う。今年度は2年目であり、初期に目標とした症例及び対照数を確保し、症例対象研究に関する解析を終了する予定。				
認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク	ネットワーク電話相談室	病気や障害のある子どもと家族から医療・福祉に関する相談を受ける	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	毎週月曜～金曜 11:00-15:00	ネットワーク電話相談室	病気や障害のある子どもと家族から医療・福祉に関する相談を受ける	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	毎週月曜～金曜 11:00-15:00
	遺伝(先天異常)特別相談	先天異常のある子どもを持つ家族から遺伝に関する相談を受ける	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	毎月第4金曜日 14:00-17:00	遺伝(先天異常)特別相談	先天異常のある子どもを持つ家族から遺伝に関する相談を受ける	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	毎月第4金曜日 14:00-17:00
	遺伝カウンセリング	遺伝性疾患や染色体異常に関する相談を受ける	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	毎月第2・4金曜日 14:00-17:00	遺伝カウンセリング	遺伝性疾患や染色体異常に関する相談を受ける	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	毎月第2・4金曜日 14:00-17:00
	ピアサポート活動	病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人をサポートする活動	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	成育:火・木・金 10:00-16:00 神奈川:火～金 10:00-15:00	ピアサポート活動	病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人をサポートする活動	家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	成育:火・木・金 10:00-16:00 神奈川:火～金 10:00-15:00
	ピアサポーター養成講座	病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人をサポートする活動	病気や障害のある子どもを育てた経験者	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	1回	ピアサポーター養成講座	病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人をサポートする活動	病気や障害のある子どもを育てた経験者	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	2回
サマーキャンプ“がんばれ共和国”	病気や障害のある子どもと家族のQOLのために	家族、ボランティア	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	全国7箇所にて開催	サマーキャンプ“がんばれ共和国”	病気や障害のある子どもと家族のQOLのために	家族、ボランティア	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	全国7箇所にて開催	

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
 ー小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備ー

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク	親の会活動を支援する	病気や障害のある子どもと家族のQOLのために、親の会連絡会、研究・研修活動他	病気や障害のある子どもと家族	50団体	親の会連絡会4回 研修旅行1回 各学会への出展	親の会活動を支援する	病気や障害のある子どもと家族のQOLのために、親の会連絡会、研究・研修活動他	病気や障害のある子どもと家族	50団体	親の会連絡会4回 研修旅行1回 各学会への出展
	第32回 こどもの難病シンポジウム	医療の進歩とともに、病気や障害のある子ども達の生きる権利を学ぶ	一般、専門職、家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	1回	第33回 こどもの難病シンポジウム	とーする医療的ケアIV ちいさな命を守り、育む地域支援を求めて	一般、専門職、家族	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	1回
	病弱教育セミナー2011	病気療養児のより良い教育のために	主に病弱教育担当教員	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	1回	病弱教育セミナー2012	病気療養児のより良い教育のために	主に病弱教育担当教員	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	1回
	プレイリーダー養成講座	病院等にて遊びを提供するボランティアの養成	一般	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	2回	プレイリーダー養成講座	病院等にて遊びを提供するボランティアの養成	一般	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	2回
	啓発人形劇「みんな友達」	人形劇を通して子どもたちに病気や障害への理解を促す	いわゆる健常児	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上		啓発人形劇「みんな友達」	人形劇を通して子どもたちに病気や障害への理解を促す	いわゆる健常児	難病や障害のある子どもは全国で20万人以上	
日本医師会	「大切ないのちを救う心肺蘇生法ABC+D」カードを作成・配布	救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動	都道府県・都市区医師会・医療機関・一般市民	約200万部		「大切ないのちを救う心肺蘇生法ABC+D」カードを作成・配布	救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動	都道府県・都市区医師会・医療機関・一般市民	2,000,000	
	「心肺蘇生法」ポスター作成・配布	救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動	都道府県・都市区医師会・医療機関・官公庁・高等学校・自動車教習所他	約19万部		「心肺蘇生法」ポスター作成・配布	救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動	都道府県・都市区医師会・医療機関・官公庁・高等学校・自動車教習所他	140,000	
	日本医師会ホームページ内の救急蘇生法サイトに「小児の救急蘇生法」、「気道異物除去」の説明	小児救急医療について広くアピール				予防接種キャンペーン 予防接種啓発ポスターの作成・配布、マスメディアを利用した広報活動	小児に必要な予防接種の定期接種化に向けた取り組み	日本医師会会員、実施医療機関他		
	予防接種キャンペーン	公費で予防接種を受けられる制度の早期実現に向けて	一般市民他			子ども予防接種週間を実施 ポスター作成・配布	予防接種率の向上			
	日本医師会市民公開講座	希望するすべての子どもに予防接種を	一般市民他	311		乳幼児保健検討委員会を開催	保育園保健の充実に向けての取り組み			4
	子ども予防接種週間を実施 平成23年3月1日～3月7日 ポスターを作成・配布	予防接種率の向上	日本医師会会員、実施医療機関他	約19万部		母子保健講習会を開催				1
	乳幼児保健検討委員会	保育園保健の充実に向けて	医師	11	4	周産期小児保健指導（ベリネイタル・ビジット）事業の推進、病後児保育（乳幼児健康支援一時預かり事業）の推進				
						子ども支援日本医師会宣言	母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進			
日本家族計画協会	ブロック別母子保健事業研修会	リプロダクティブ・ヘルスを中心に、母子保健、性暴力・児童虐待・子供の事故予防、女性の健康等を含めた啓発予防教育活動を展開する。	母子保健事業関係者	1,022	6	平成23年母子保健・家族計画全国大会（健やか親子21全国大会）	「健やか親子21」の普及啓発	「健やか親子21」の推進関係者	1000	1
						ブロック別母子保健事業研修会	リプロダクティブ・ヘルスを中心に、母子保健、性暴力・児童虐待・子供の事故予防、女性の健康等を含めた啓発予防教育活動を展開する。	母子保健事業関係者	1,000	6

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本看護協会	認定看護師教育課程 認定教育「小児救急看護」	小児救急看護の認定看護師の育成	実務経験が5年以上(内、小児救急看護の分野で3年以上)の看護師	30	1年間	小児救急看護の認定看護師の育成	小児救急看護の認定看護師の育成	実務経験5年以上(内、小児救急看護の分野で3年以上)の看護師	30	1年間
	研修 愛着形成と子育て支援 一子どもを守り育てるために	愛着形成と心身の発達／子どもを取り巻く環境と課題／子どもの虐待の現状と課題／入院中の子育て支援	保健師、看護師、助産師、准看護師	140	2日間	子どもの看護と家族へのケア～小児救急から子育て支援まで～	子どもに対し適切な医療・看護を行うために、小児救急看護の基礎知識から子育て、愛着形成支援までを体系的にとらえ、子どもとその家族へのケアを学ぶ	保健師、助産師、看護師、准看護師	120	3日
	研修 子どもと家族のための小児救急看護	主な病態と治療／小児救急におけるトリアージ／小児救急看護の実際／家族と地域の取り組みの実際	保健師、看護師、助産師、准看護師	140	2日間	保健師活動強化コンサルテーション事業	次期統括者の役割を担える中堅期保健師の育成。テーマは母子保健。コンサルタントから指導助言を受けながら、事業の実践計画(試案)を修正し、実践の見直しを立てていく。	保健師	35	7
	研修 新生児集中ケアと家族への支援	ハイリスク新生児の代表的な疾患の病態生理と治療、新生児集中ケアの実際	保健師、看護師、助産師、准看護師	140	2日間	保健指導ミーティング	保健師の保健指導のスキルアップを目的とした実践事例検討会。テーマは母子保健、児童虐待など	保健師	各地区50	各1～2
	日本看護学会 母性看護・小児看護	小児のリハビリテーションの実態など(計62演題)	保健師、看護師、助産師、准看護師	1200	2日間	学術集会 日本看護学会 母性看護・小児看護	つなげよう命、つなげよう看護	保健師、助産師、看護師、准看護師	2000	2日間
各都道府県看護協会との連携	ポスターやリーフレット等の配布、情報提供	保健師、看護師、助産師、准看護師			各都道府県看護協会との連携	ポスターやリーフレット等の配布、情報提供	保健師、看護師、助産師、准看護師			
日本歯科医師会	第59回母と子のよい歯のコンクール	厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。 優秀母子の表彰については、11月6日(土)に山形テルサ(山形県山形市)において開催された第31回全国歯科保健大会の式典で行った。	平成21年度に行われた全国の3歳児健康診査の受診者991,049人のうち、地方審査を経て各都道府県より推薦のあった母子31組のなかから優秀母子6組を選出。		1回開催	第60回母と子のよい歯のコンクール	厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。 優秀母子の表彰については、11月19日(土)に長良川国際会議場(岐阜県岐阜市)において開催される第32回全国歯科保健大会の式典で行う予定である。			1回開催
	歯の衛生週間	歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的とする。 標語「広げよう「噛む」から始まる 健康づくり」 重点目標「住民主体による8020運動の新たな展開」	実施要領及びポスターの配布 中央及び地方の主催団体(中央主催団体:厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会)から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に努めるとともに、日本歯磨工業会の協力により作成したポスター23万枚を都道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県農業協同組合中央会等関係機関・団体等に配布した。			歯の衛生週間	歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的とする。 標語「みがこうよ 未来へ繋(つな)げる じょうぶな歯」 重点目標「住民主体による8020運動の新たな展開」	実施要領及びポスターの配布 中央及び地方の主催団体(中央主催団体:厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会)から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に努めるとともに、日本歯磨工業会の協力によりポスターを作成し、都道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県農業協同組合中央会等関係機関・団体等に配布。		
	母子歯科保健推進協議会懇談会	母子保健に関する法人格を持つ全国的組織である諸団体との意思疎通を図るために、昭和52年に設置し、地域における歯科保健事業の推進を目指している。平成22年度は平成23年1月26日(水)に開催した。なお、母子保健推進会議の母子保健推進員向けの機関紙「母推さん」に歯科保健に関するページ「8020の里」に毎号原稿を提出し、掲載されている。	加盟団体:(社)母子保健推進会議、(社)全国保健センター連合会、(社)日本家族計画協会、(社)母子衛生研究会、(財)日本母子衛生助成会、(社)日本栄養士会、(財)日本食生活協会、(財)日本公衆衛生協会、(社)全国私立保育園連盟、(社会福祉法人)恩賜財団母子愛育会、(社)日本歯科衛生士会、(社)日本歯科医師会			1回開催	日本栄養士会との共同事業	シンポジウムを開催予定		

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本歯科医師会	日本歯科医師会・日本栄養士会第1回共催事業 2010年世界保健デー記念「第31回健康づくり提唱のつどい」	人は、成長、発達、運動、生命維持などのために必要な栄養バランスのとれた食物を「口」から摂り込み、十分に咀嚼することによって、身体に必要な栄養と五感を通した味わいや寛ぎのみではなく、心の栄養を得て、心身共に健康な生活を送ることができる。また、共に食することで、人々の連帯意識が高められ、人との絆が育てられる。さらに、地域づくりや食文化の醸成にも寄与することにつながる。 食物の知識とこのような「食」によって、「食」が健全な心身の糧となり、豊かな人間性を育むことが可能となります。 “食べることは生きること-生涯食べる機能を維持して、健康であるために”をテーマに、生涯を通じて健やかに生き生きと心豊かに生きることについて学ぶ。	一般	400	1回開催	日本小児科学会との連携	母子歯科保健における口腔の健康・増進に際して、小児科学会との連携は不可欠と思われるので、今後より連絡等を密にとり、協力体制を築いていきたい。			
	日本歯科医師会・日本栄養士会第2回共催事業 「食べることは生きること」～「健やかな食と食べる機能」を支援するためのシンポジウム～	平成22年4月に日本栄養士会と共同で「健康づくりのための食育推進共同宣言」を行ったことをはじめ、日本歯科医師会と日本栄養士会とが連携し、生涯を通じた「食」の専門職として積極的に支援を行っていくため、「健やかな食と食べる機能」をテーマに共通認識を深めていくことを目的としている。	歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、栄養士	150	1回開催					
日本小児科学会	小児科専門医のための指導医講習会	小児科医を育成する指導医の指導力向上をはかる	小児科専門医、診療実績7年以上	42	2	第6回、第7回小児科専門医のための臨床研修指導医講習会	小児科医を育成する指導医の指導力向上をはかる	小児科専門医、診療実績7年以上	42	2
	「小児科へようこそ！」パンフレット	小児科学と小児医療に関する内容のパンフレットを作成	小児科医をめざしている人	8,000		第1回小児科専門医・専門医取得のためのインテンシブコース	小児科専門医と、専門医取得をめざす若手医師を対象とする、「小児科医の到達目標」の沿った内容のセミナー	小児科専門医、小児科専門医を目指す研修医、学生	460	1
	日米若手医師交換プログラム	日米の学術集会で研究発表する	日米の40歳以下の小児科医		1	小児救急市民公開フォーラム	小児救急医療のしくみや疾病への対応を保護者に知っていただくため	医師 看護師 一般市民	200	1
	第40回日本小児科学会セミナー	小児肥満の問題点と生活習慣病 ハイリスク児の早期発見をめざして	医師、会員、非会員	500人	1	脳死判定セミナー	脳死判定について、実技を交えての講習会	医師	50人	1
	Injury Alert(傷害注意速報)	重症度が高い傷害の発生状況を情報公開することにより注意を喚起する	医師、一般		随時	日本小児科学会の推奨する予防接種スケジュール	予防接種の受ける時期を一覧表にしてわかりやすい表にした	医師、一般		1
	こどもの健康週間	子どもの健康に関する講演会、健康相談、栄養相談、血圧・肥満度測定、口腔衛生相談等を実施する	一般市民		10月第2週	公開シンポジウム『病棟のこどもたちをサポートする、多職種のコラボレーション』	こどもの入院環境をよりよいものにするためにできることを多職種連携の観点から考える	医師、一般	150人	1
	国際小児難病フォーラム2010 —小児難病の診断・治療の最近の進歩(後援)	米国を中心に各分野の専門家を招き、小児難病の最近の知見をわが国の小児科医へ啓蒙活動を行い、また新しい治療法に関して意見交換を行う	小児科医師、レジデント、学生、患者と家族・団体	500	1	Injury Alert(傷害注意速報)	重症度が高い傷害の発生状況を情報公開することにより注意を喚起する	医師、一般		随時
	学校保健心の問題委員会「提言」2010	子どもの権利と尊厳を守るための提言	一般市民、学校教育関係者、医師		1	こどもの健康週間	子どもの健康に関する講演会、健康相談、栄養相談、血圧・肥満度測定、口腔衛生相談等を実施する	一般市民		10月第2週
	新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症の改訂ガイドライン	厚生労働省心身障害研究、新生児管理における諸問題の総合的研究班1989年発表以降に得られた国内外の資料を基に改訂。	医師、一般			第3回園医・看護師・保育士のための研修会	保育園に必要な予防接種、発達障害児の診断と対応	医師、一般	50人	1
	予防接種フォーラム(郡山)	予防接種の正しい知識を理解してもらう	一般	250	1					
	第8回日本小児科学会倫理委員会公開フォーラム	重篤な疾患を持つ子どもの治療方針決定のあり方	医師、一般	100	1					
	第2回 園医・保育士のための研修会	保育所や幼稚園で働く医師や保育士、看護師が、保育に関連する感染症、発達、栄養などについて学ぶ	医師、会員、非会員	200	1					

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
 ー小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備ー

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本小児看護学会	日本小児看護学会第20回学術集会 【テーマ】「次代への看護の挑戦ー子どもたちの権利を保障し生活をデザインするー」	【目的】小児看護関係者が一堂に会し、最新の知見や経験について意見交換する。今回は、どのような状態にいる子どもでも、その人たちの生活をその人たちに合ったものにできるように支援するために子どもたちの権利を保障した生活を再考することをテーマとした。 【内容】 ①会長講演「子どもたちの権利を保障し生活をデザインするーセルフケア理論を活かすー」 ②特別講演「心の健康教育ー子どもが自他のいのちを大切にするためにー」 ③教育講演「子どもの権利と尊厳ーインターセックス（性分化疾患）の子どもたちー」 ④シンポジウム「社会の中で生きる子どもたちを支援する小児看護ー役割拡大の必然ー」 ⑤テーマセッション「子どもの安全を守ろうー小児領域に潜んでいるリスクを探ろうー」、「医療を必要とする子どもを災害から守るー病院・在宅・特別支援学校での毎日のイメージトレーニングー」、「子どもの臓器移植ードナーとなる子ども/レシピエントとなる子どもの権利を擁護する看護実践について考えませんかー」等 ⑥ナーシング・サイエンスカフェ：NICU、小児病棟に勤務する看護師と中学生・高校生との交流	看護師、関連専門職、患者会関係者等、及び一般市民（中学生・高校生）	1470	1	日本小児看護学会 2011年度地方会（中国地区） 「病気や障害をもつ子どもと家族の成長を支える看護」	【内容】 ①基調講演「病気や障害をもつ子どもと家族の成長を支える看護」 ②シンポジウム「他職種と連携協働したアプローチを考える」 シンポジスト4名	看護師、関連専門職、看護学生等	100	1
	特別支援学校で医療的ケアを必要とする子どもの安全性を保障する看護師の配置に関する政策提言	【目的】特別支援学校に通学する児童生徒が重症化する中で、特別支援学校において医療的ケアを必要とする子どもの安全・安心が守られ、より良い教育が保障されることを目指す。	教育関係者、医師・看護師等		1	日本小児看護学会第21回学術集会 【テーマ】「子どもたちの未来は私たちの未来ー保健・医療・福祉・教育の絆ー」	【目的】子どもたちがどのような環境にあってもその子らしく、少しでも生き生きと成長するために、小児看護に携わるものとして、どのように保健・医療・福祉・教育の絆を深め、連携することができるのかを検討する。 【内容】 ①会長講演 「小児専門病院管理者の視点から保健・医療・福祉・教育の絆を再考する」 ②特別公演 「そだちの凸凹（発達障がい）とそだちの不全（子ども虐待）」 ③教育講演 「モンスターペアレント論を超えてー保護者の思いと背景を読み取る」 ④シンポジウム 「保健・医療・福祉・教育ー地域との連携の未来像を描く」 ⑤緊急フォーラム 東日本大震災ー子どもたちの現状と私たちができることー、他	看護師、関連専門職、患者会関係者、一般市民（一部）等	1200	1
	日本小児看護学会 2010年度地方会（東北地区） シンポジウム「小児がん患児のトータルケア」 ・小児がん治療 ・新薬導入 ・トータルケア ・あのころの僕に看護するとしたら	【目的】 現在、晩期傷害の問題も加わり、小児がん患児のトータルケアについて深化している内容と課題を学び、さらに実践している看護ケアについて意見交換により示唆が得られ、日々子どもの尊厳が護れる看護実践に役立てること	看護師、関連専門職、看護学生等	98	1	ポスター「子どもの人権は守られていますか？」	病院における子どもの権利擁護への啓発活動	医療者	4000	1
						情報提供「子どもの事故防止に向けた親向けの支援内容」	子どもの事故予防のための啓発活動	子育て中の親	1	1

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
 - 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 -

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本小児看護学会						第8回医療的ケア研修セミナー	【目的】 家庭・学校・通園通所施設などにおいて、重症児(者)の在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が広がりを持ちながらも適切に行われるように、専門職が知っておくべき方法・技術、諸問題及びリスクについて具体的に研修する。今回のセミナーでは、特に「リスク管理」に重点をおき、各手技の基本的事項を整理し、支援者が知識を共有できることを目的とする。	重症神経疾患児・重症心身障害児(者)等の医療・療育・学校教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・教員など	300	1
日本小児保健協会						第28回小児保健セミナー	「小児保健と関連領域」	保健師、看護師、医師、保育士、教師、栄養士など小児保健関係者。	参加 111名	1
						小児救急電話相談スキルアップ研修会(基礎コース)	小児救急電話相談の役割の理解と相談技術の向上を目的に開催	保健師、助産師、看護師、医師、歯科医師、心理相談員、教諭、養護教諭、その他	100名	1
						小児救急電話相談スキルアップ研修会(実践コース)	小児救急電話相談の役割の理解と相談技術の向上を目的に開催	保健師、助産師、看護師、医師、歯科医師、心理相談員、教諭、養護教諭、その他	30名	1
日本赤十字社	赤十字幼児安全法講習会	こどもに起こりやすい事故に対する手当(心肺蘇生法や応急手当等)の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催した。	全国の一般市民(父母、祖父母、保育士、学生等)を対象	受講者数 59,559人	開催数 2,581回	赤十字幼児安全法講習会	こどもに起こりやすい事故に対する手当(心肺蘇生法や応急手当等)の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催する。	全国の一般市民(父母、祖父母、保育士、学生等)を対象	65,515人	開催数 2,839回
	赤十字幼児安全法指導員養成講習会	赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催した。	一般及び職員	受講者数 99人	開催数 13回	赤十字幼児安全法指導員養成講習会	赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催する。	一般及び職員	160人	開催数8回
	小冊子「知っておきたいこどもの看病 手当のしかた」	赤十字幼児安全法講習の補助教材として使用するほか、同講習内容への関心を高めてもらうために、一般へ頒布する。	一般への頒布	小冊子の頒布数 43,296部		小冊子「知っておきたいこどもの看病 手当のしかた」	赤十字幼児安全法講習の補助教材として使用するほか、同講習内容への関心を高めてもらうために、一般へ頒布する。	一般への頒布	小冊子約 47,625部頒布(教材使用を含む)	
	医療事業(小児救急医療拠点病院)	2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため	2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々		通年	医療事業(小児救急医療拠点病院)	2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため	2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々		通年
	医療事業(総合周産期母子医療センター)	周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年	医療事業(総合周産期母子医療センター)	周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年
	医療事業(地域周産期母子医療センター)	周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年	医療事業(地域周産期母子医療センター)	周産期医療の充実のため	患者及びその家族		通年
	医療事業(NICU病床の設置)	新生児集中治療室充実のため	患者及びその家族		通年	医療事業(NICU病床の設置)	新生児集中治療室充実のため	患者及びその家族		通年
	医療事業(乳幼児健康相談の実施)	乳幼児の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年	医療事業(乳幼児健康相談の実施)	乳幼児の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年
	医療事業(小児健康相談の実施)	小児の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年	医療事業(小児健康相談の実施)	小児の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年
	医療事業(妊産婦健康相談の実施)	妊産婦の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年	医療事業(妊産婦健康相談の実施)	妊産婦の健康管理体制の醸成のため	患者及びその家族		通年
医療事業(育児相談の実施)	育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため	患者及びその家族		通年	医療事業(育児相談の実施)	育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため	患者及びその家族		通年	
医療事業(両親学級の開催)	妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため	患者及びその家族		通年	医療事業(両親学級の開催)	妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため	患者及びその家族		通年	
日本保育園保健協議会	保育園における感染症対策啓発シンポジウム	保育所における感染症対策ガイドラインが発表され、その活用・普及のため	保育園の関係者	1500	4	保育園における安全対策のあり方検討委員会	保育園の安全対策、事故予防	日本保育園保健協議会の役員	50	4
						平成23年度こども未来財団助成調査研究「保育園における事故予防システムの構築」	保育園における事故防止・安全対策マニュアルの策定	研究班および全国の保育園	23000	8
						第7回全国研修会「保育園における事故予防・安全対策」	保育園における安全対策のあり方リスクマネジメント・システム構築に向けて	日本保育園保健協議会の会員および保育士をめぐす学生	700	5月15日
						東北ブロック研修会	災害を体験した子どもの心のケア	日本保育園保健協議会の会員および保育士をめぐす学生	400	6月19日

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本保育園保健協議会						平成23年度関東甲信越ブロック研修会	保育園の健康・安全対策	日本保育園保健協議会の会員および保育士をめざす学生	400	9月11日
						東北ブロック研修会	東日本大震災を体験した子どもの心のケア	日本保育園保健協議会の会員および保育士をめざす学生	250	10月23日
						第17回日本保育園保健学会	「はぐくみ、いつくしむ～子どもたちは世界の宝」	日本保育園保健協議会の会員および保育士をめざす学生	1000	11月12・13日
日本保育協会	保育所事故予防研修会	保育所における事故防止についての意義と実際の対応について研修を実施	保育所の職員	531	2回	保育所事故予防研修会	保育所における事故防止についての意義と実際の対応について研修を実施	保育所の職員	600	2回
						保育士による家庭内での乳幼児の事故予防啓発事業	乳幼児の保護者が事故予防への理解を深めるための保育所職員の研修を行う	保育所の職員	200	2回
日本薬剤師会	石川県薬剤師会「こどもの健康サポート薬局」認定制度	研修を修了した薬剤師を認定。家庭における子どもの健康不安や薬に対する相談対応など。休日・夜間や救急医療への過度な受診防止も目的の一つ。	子どもとその家族	認定薬剤師は過去3年間で530人		石川県薬剤師会「こどもの健康サポート薬局」認定制度	研修を修了した薬剤師を認定。家庭における子どもの健康不安や薬に対する相談対応など。休日・夜間や救急医療への過度な受診防止も目的の一つ。	子どもとその家族	認定薬剤師は過去3年間で530人	
財団法人 母子衛生研究会	インターネット「赤ちゃん＆子育てインフォ」	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供	妊産婦および育児期の保護者等	4,147,383	随時	わが家の安心ガイドブック	乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発	1歳6か月児健診時等の保護者	970,000	1
						女性のための健康ガイド	女性の生涯にわたる健康づくりの普及啓発	婦人科健診、保健相談、外来受診の一般女性	860,000	1
母子保健推進会議						インターネット「赤ちゃん＆子育てインフォ」	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供	妊産婦および育児期の保護者等	4,150,000	随時
	平成22年度健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）	目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発。ならびに地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援／内容：功労者表彰（厚生労働大臣表彰、本会議表彰等）、特別講演「子別れ」～落語が伝える親子の情～、シンポジウム：テーマ「地域ではぐくむ親子の笑顔」・基調講演「親子の笑顔を育むために～診療、健診の現場から」等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	800名	1回	平成23年度「健やか親子21」全国大会	目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。内容：功労者表彰（厚生労働大臣表彰、本会議表彰等）、特別講演、シンポジウム等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	1,500名	1回
	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的：母子保健推進員等地域組織活動を周知することにより、理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる／内容：厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等	行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等	200名	1回	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的：母子保健推進員等の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員等の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげる／内容：全国の母子保健推進員の活動報告	厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等	180名	1回
	母子保健推進員研修会	目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る／内容：虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、乳幼児の事故と予防対策、母子保健推進員の活動・役割・期待、地域での子育て支援をテーマに講演、活動報告等。	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等	4,270名	12回	母子保健推進員研修会	目的：すこやか親子21国民運動の一層の推進を目指す、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る／内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告	保健師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	4,300名	16回
	健やか親子21国民運動—8020の里賞	目的：域組織の育成、乳幼児期からの口腔から全身の健康の啓発／内容：地域で劇、ペープサート、手作り教材制作など活発な啓発活動を実践している組織を表彰、活動内容を全国自治体宛紹介	地域で母子保健活動を行っている組織	44媒体、25団体の応募	1回	母子保健教材の制作・無償配布	目的：母子保健活動を円滑に行うために教材の制作・配布は有効である／内容：妊娠期、子育て期用リーフレットの制作・配布	保健師、助産師、歯科衛生士、保育士、自治体母子保健担当、母子保健推進員等	500,000部制作・配布	随時
	幼児用歯ブラシセット	目的：乳幼児期の歯科保健知識と意識の普及、歯科保健指導と母親自身の口腔啓発／内容：歯科健康診査実施前後配布用教材、各年・月齢の特徴、留意点、歯みがきのポイント	1歳6か月児・3歳児とその保護者	1歳6か月用 200,000・3歳児用 150,000セット	2回	歯科保健指導者研修会	目的：8020と健やか親子21は住民が主体性を持ち進めるが、それを支える専門職、関係者に対して最新の情報を伝える必要がある／内容：歯科保健からの食育の推進など	保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等	400名	2回
	リーフレット「おかあさんといっしょに よく噛み 育てる ところからだ」	目的：乳幼児期からのむし菌予防の大切さと留意点を広く知らしめる／内容：妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産の関係、など	市町村保健センター、本会議主催大会、研修会参加者等	500,000部制作・配布	14回	母子歯科保健研修会	目的：母子保健推進員等歯科保健専門職でない方々を対象に歯科保健知識の普及を図る／内容：妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と歯科保健など	母子保健推進員等、保健師、自治体母子保健担当者	4,300名程度	16回
	歯科保健技術者研修会	目的：8020と健やか親子21は住民が主体性を持ち進めるが、それを支える専門職、関係者に対して最新の情報を伝える。／内容：脳と食べ物の関係、子育て支援、8020の里づくり、食育の取組み等テーマに講演、研修会	保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等	400名	2回	幼児用歯ブラシセット	目的：乳幼児期からの正しい歯の磨き方の普及啓発／内容：1歳6か月・3歳児用歯ブラシとリーフレットのセットを県・保健所を通して配布	市町村（健診時等に対象者へ）	350,000セット	2回

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
母子保健推進会議	母子歯科保健研修会	目的：母子保健推進員、自治体母子保健担当者、学校関係者等を対象に歯科保健知識の普及を図る／内容：妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産、虐待との関係等	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者	4,270名	12回	リーフレット「おかあさんといっしょにーよく噛み育てる ころとからだー」、パンフレット「楽しく食べて元気な子ー歯科からの食育メッセージ」	目的：母子の歯科保健知識普及運動推進／内容：1歳6か月・3歳児健診、2歳児歯科健診時配布用教材、各年齢・月齢の特徴、留意点、歯みがきのポイント、離乳食、食育の進め方についてなど	市区町村母子保健担当者、乳幼児を持つ親	50,000部制作・配布	随時
	地域母子保健福祉情報紙ー母推さんーの発行	目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る／内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実態の紹介、本会議主催研修会の報告など	都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等	毎月10,000部発行	12回	歯科保健指導用パネル	目的：口腔の健康は全身、及び対象者の生活の質にもかかわってくることの知識と意識の向上を図る。／内容：「食育と歯科保健」、新シリーズの制作予定 シリーズA全判	都道府県・政令市・市区町村等の母子歯科保健担当者、各県歯科医師会関係	希望数全て	随時
	ホームページ運営管理	目的：全国の保健師、母子保健推進員等の情報の共有を図る／内容：本会議ホームページの全面リニューアル、ホームページ上に質問箱を設置、回答を公開、「母推さん」バックナンバーを公開 http://www.bosui.or.jp	保健師、自治体保健担当者、母子保健推進員等		随時更新、機関紙ー母推さんバックナンバー月1回更新	「8020の里賞」の表彰	目的：母子歯科保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る／内容：審査会を開き受賞団体を決定、表彰を行う	県・市町村協議会、親子の健康づくりのために活動する地域組織	優秀賞：3団体、佳作賞：若干、奨励賞：若干	1回
	ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないでータバコは早産・低出生体重児の誘因になります」	目的：妊婦の喫煙が早産、低出生体重時の出産に誘引すること、副流煙による子どもへの弊害を広く知らしめる／内容：ポスター、リーフレットを制作し、妊婦及び重要時を持つ親に対して、喫煙が胎児に与える影響、受動喫煙の弊害について、SIDS予防コーナーを設けた	妊婦及び乳幼児を持つ親	ポスター20,000枚、リーフレット10,000部制作・頒布	ポスター1回、リーフレット随時	ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないでータバコは早産・低出生体重児の誘因になります」	目的：妊婦の喫煙による弊害を広く知らしめる／内容：妊婦の喫煙、副流煙の特に乳幼児への危険性を知らしめるポスターを制作、配布。機関紙「母推さん」(後述)で特集記事を掲載／B2版 カラー	市区町村母子保健担当者、妊婦及び乳幼児を持つ親	ポスター：20,000枚／機関紙「母推さん」：10,000部	1回
	「早寝早起朝ごはん運動」の促進	目的：乳幼児・児童の規則正しい生活「早寝早起朝ごはん」がもたらす好影響についての周知とシンボルマークの普及による運動へのさらなる周知を目指す／内容：パンフレット・リーフレットの制作、研修会テーマで取り上げる等	乳幼児・児童を持つ親	パンフレット2,000枚制作 研修会対象者	随時	地域母子保健福祉情報紙ー母推さんーの発行	目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員等の資質の向上を図る／内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実態、活動している人の声など	都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等	月10,000部発行	12回(毎月1回15日発行)
	「健やか生活習慣国民運動」の促進	目的：食育、むし歯予防、生活リズム、の大切さを広く知らしめる／内容：研修会のテーマ、教材作りを生かす等	乳幼児期からの親	パンフレット制作、研修会対象者	随時	ホームページ運営管理	目的：調査報告、情報の共有、保健活動に当たっての悩みや疑問の解消を図る／内容：情報の公開と共有、質問箱の設置、情報交換の場を設ける。本会議機関紙ー母推さんーのバックナンバーを掲載 http://www.bosui.or.jp	保健師、自治体保健担当者、母子保健推進員等		随時更新 機関紙ー母推さんーバックナンバー月1回更新
	母子保健と国際協力	目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。／内容：国際協力機構(JICA)などに協力し講義。	母子保健推進員等、保健師	120名	6回	母子保健と国際協力	目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。／内容：国際協力機構(JICA)などに協力し講義。	母子保健推進員等、保健師	120名	6回
	独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成	目的：「母子保健推進員等地域組織による子育て応援事業」の実施／内容：「市区町村における母子保健推進員等の果たす役割」調査、母子保健推進員等を対象とした研修会、及び現地調査の実施、報告書の制作(A4判104頁)など	都道府県、指定都市、市区町村、関係機関母子保健担当者	研修会1,197名、報告書2,000部	研修会5回、現地調査8回、報告書配布1回	母子保健啓発教材の制作・頒布	目的：母子保健知識の普及、及び母子保健推進員活動の円滑な推進を図る／内容：母子保健知識の普及に必要な教材、及び乳幼児を持つ家庭への訪問時に必要な教材等を制作し頒布する	都道府県、市区町村母子保健担当者	希望者	随時
						独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成	目的：母子保健推進員等の資質向上と組織育成事業の実施／内容：母子保健推進員等母子保健関係者研修会開催、訪問活動に有効な教材の制作・配布、市町村母子保健活動調査、ホームページを活用し保健師、市町村母子保健担当、母子保健推進員等への情報提供を行う	保健師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	研修会1500名、報告書2000部	研修会5回、現地調査8回、報告書配布1回
	一般社団法人日本小児歯科学会	テーブルセミナー「小児歯科医院での定期健診を考える」	定期健診による子育て支援の充実	歯科医療関係者	140	1	講演会「生と死のケアー小児歯科にとってのグリーフケア」	親子関係の基盤を知ることから、歯科における子育てで支援の強化を図る	小児歯科関係者	200
						講演会「小児医療の連携と地域活動」	地域における小児保健の連携を学び、実践に活かす	歯科医療関係者	700	1
日本小児総合医療施設協議会	基礎疾患を有する児への予防接種、院内学級、在宅支援医療についてのアンケート調査	基礎疾患を有する児への支援体制の充実をインフルエンザ対策の総括と今後の対策	日本小児総合医療施設協議会会員施設	29施設	1	小児総合医療施設における「子どもの権利条約」保護の現状の検討	各施設の状況調査アンケートの検討	日本小児総合医療施設協議会会員施設29施設	29	1回
	小児総合医療施設における「子どもの権利条約」保護の現状について	各施設の状況調査アンケート	日本小児総合医療施設協議会会員施設	29施設	1	子どもの事故防止セミナー	子どもの事故防止啓発のための一般向けセミナーの開催	一般	100	1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本小児神経学会	医療的ケア研修セミナー	身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践、障害を持つ児への診療支援。2010年11月28日、名古屋で開催。	医師、看護師、教育・保健関係者	265	1	医療的ケア研修セミナー	重症児(者)の在宅地域生活支援のための「医療的ケア」、専門職が知っておくべき方法・技術、諸問題およびリスク管理についての研修。2011年11月13日、神戸市で開催予定。	医師、看護師、教育・保健関係者	300	1
	夜間集会「重症児(者)が地域で安全に快適にいけるために:ショートステイ、「レスパイト入院」	重症児(者)の地域で安全・快適な生活保障のための方策の検討。2010年5月21日、福岡市で開催。	日本小児神経学会会員および一般参加者	100	1	ワークショップ「障害児(者)を地域支援する「医療と福祉」の連携:障害者総合福祉法と医療保険・日本小児神経学会の具体的施策提言」	障害児(者)を地域支援する「医療と福祉」の連携の方策の検討を行う。2011年5月28日、横浜市で開催。	日本小児神経学会会員および一般参加者	100	1
日本食生活協会	冊子「子どもの歯と食育～1歳6か月児健康診査のために～」	1歳6か月児健診時のために作成。1歳6か月頃の食事と虫歯予防についてまとめる。	1歳6か月児とその親		8,000部	冊子「子どもの歯と食育～1歳6か月児健康診査のために～」	1歳6か月児健診時のために作成。1歳6か月頃の食事と虫歯予防についてまとめる。	1歳6か月児とその親		8,000部
	冊子「子どもの歯と食育～3歳児健康診査のために～」	3歳児健診時のために作成。3歳児頃の食事と虫歯予防についてまとめる。	3歳児とその親		6,000部	冊子「子どもの歯と食育～3歳児健康診査のために～」	3歳児健診時のために作成。3歳児頃の食事と虫歯予防についてまとめる。	3歳児とその親		6,000部
全国病児保育協議会	第20回記念全国病児保育研究大会	目的 病児保育事業に関する調査研究や従事者のレベルアップ及び交流の場の提供を目的に開催 内容 ・特別講演「病児・病後児保育への期待」 ・教育講演「気になる親への理解と援助」 ・研修プログラム 基礎研修 ステップアップ研修 他	病児保育事業に携わる者(施設長、医師、看護師、保育士、教育関係者、行政担当者等)	約1000名	1回	第21回全国病児保育研究大会	目的 病児保育事業に関する調査研究や従事者のレベルアップ及び交流の場の提供を目的に開催 内容 ・特別講演「サル社会に見る家族の絆=サルの子育てに学ぶ=」 ・教育講演Ⅰ「イライラと落ち込みのセルフ・コントロール～人間関係のストレス～」 ・教育講演Ⅱ「伝えるということ、知っておくということ～カンボジアでの体験を通して～」 ・研修プログラム 基礎研修 ステップアップ研修 他	病児保育事業に携わる者(施設長、医師、看護師、保育士、教育関係者、行政担当者等)	約500名	1回
日本女医会	ミニ講演会「21世紀の子どもために小児救急医療の整備と提言事業」	母親の育児教育を推進することにより、地域の医療従事者、保育者、役所関係など大きなサークル活動として地域に貢献する。	母親、看護師、保育士等教育・保健関係者	100	2	ミニ講演会「21世紀の子どもために小児救急医療の整備と提言事業」	母親の育児教育を推進することにより、地域の医療従事者、保育者、役所関係など大きなサークル活動として地域に貢献する。	母親、看護師、保育士等教育・保健関係者	100	2
全国母子保健推進員等連絡協議会	平成22年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)	目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援/内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「子別れ」～落語が伝える親子の情～、シンポジウム:テーマ「地域ではぐくむ親子の笑顔」・基調講演「親子の笑顔を育むために～診療、健診の現場から」等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	800名	1回	平成23年度「健やか親子21全国大会」	目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、地域母子保健事業の推進を図る。内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演、シンポジウム等	保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等	1,500名	1回
	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、母推活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる/内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向と母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等	行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等	200名	1回	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会	目的:母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげる/内容:全国の母子保健推進員の活動報告	厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等	180名	1回
	母子保健推進員研修会	目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、乳幼児の事故と予防対策、母子保健推進員の活動・役割・期待、地域での子育て支援をテーマに講演、活動報告等。	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等	4,270名	12回	母子保健推進員研修会	目的:すこやか親子21国民運動の一層の推進を目指す、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等	4,300名程度	16回
	母子歯科保健研修会	目的:母子保健推進員、自治体母子保健担当者、学校関係者等を対象に歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産、虐待との関係、など	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者	4,270名	12回	母子保健教材の制作・無償配布	目的:母子保健か活動を円滑に行うために教材の制作・配布は有効である/内容:妊娠期、子育て期用リーフレットの制作・配布	保健師、助産師、母子保健推進員、歯科衛生士、保育士、自治体母子保健担当者	500,000部	随時
地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行	目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実態の紹介、本会議主催研修会の報告など	都道府県・保健所・市区町村・関係団体母子保健担当者	毎月10,000部発行	12回	母子歯科保健研修会	目的:母子保健推進員等歯科保健専門職でない方々を対象に歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と歯科保健など	母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者	4,300名程度	16回	

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
全国母子保健推進員等連絡協議会						「8020の里賞」の表彰	目的：母子歯科保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る／内容：審査会を開き受賞団体を決定、表彰を行う	県・市町村協議会、親子の健康づくりのために活動する地域組織	優秀賞：3団体、佳作賞：若干、奨励賞：若干	1回
						地域母子保健福祉情報紙―母推さん―の発行	目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る／内容：厚生労働省、専門職の真、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など	都道府県・保健所・市区町村母子保健担当者・団体等	月10,000部発行	12回（毎月1回15日発行）
財団法人 母子健康協会	小児医学研究助成	趣旨 小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日 平成22年10月31日 研究期間 平成22年11月～平成23年10月 対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。	大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。	件数12件 総額1500万円	毎年1回募集	小児医学研究助成	趣旨 小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 募集月日 平成23年5、6月 対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。	大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。	件数12件 前後 総額1300万円	毎年1回募集
	小児医学研究助成報告書の発行	趣旨 助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。 「平成20年度第21回小児医学助成研究報告書」 平成22年6月1日発刊 部数 300部	全国の主要な大学・研究機関110ヵ所に贈呈	110機関	毎年1回発行	小児医学研究助成報告書の発行	趣旨 助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。 「平成21年度第22回小児医学助成研究報告書」 平成23年9月発刊 部数 300部	全国の主要な大学、研究機関	110機関	毎年1回発行
	シンポジウム「保育園・幼稚園における感染症と対応」開催	趣旨 保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」とホームページに収録し、広く情報提供する。 開催日時 平成23年1月26日（水） 14時～17時 講師 前川 喜平 （東京慈恵会医科大学名誉教授） 和田 紀之 （和田小児科医院 院長） 佐藤 直子 （足立区立沼田保育園 看護師）	東京都、横浜市、川崎市の保育園・幼稚園の先生	受講者数 145名	年1回東京地区で開催	シンポジウム 「保育に必要な予防接種の知識」を開催	趣旨 保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時 平成24年1月 *シンポジウムの詳細内容を機関誌・ホームページで紹介	東京都、横浜市、川崎市の保育園・幼稚園の先生	定員 160名	年1回東京地区で開催
	機関誌「ふたば」発行	趣旨 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日 平成22年11月1日 発行部数 32,000部 内 容 B6版 99ページ 「子どもたちをタバコから守るために」 「温かい心を育むために」 「保育における食物アレルギーの考え方と対応」等	全国の主要な保育園・幼稚園の先生	30,000ヶ所に贈呈	毎年1回発行	機関誌「ふたば」発行	趣旨 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日 平成23年11月 発行部数 32,000部 内 容 B6版 80ページ *記事の全文をホームページで紹介	全国の主要な保育園・幼稚園の先生	30,000ヶ所に贈呈	毎年1回発行
日本SIDS・乳幼児突然死予防学会	第17回学術集会	主題「乳幼児突然死の病態からSIDSの病因にせまる」	おもに医師（小児科・法医学・救急・病理など）	200	1	第18回学術集会	主題「乳幼児突然死への工学的アプローチ」	医師（小児科・法医学・救急・病理など）、子どもの事故予防の工学系研究者、保育関係者など	200	SIDS研究および子どもの突然死予防に関心を寄せる学術研究者の増加。

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画（課題3）
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

団体名	平成22年度の取組実績					平成23年度の行動計画				
	事業名	目的・内容	対象者	対象者数	開催数	事業名	目的・内容	対象者	予定対象者数	開催予定数
日本未熟児新生児学会	教育セミナー	新生児医療に携わる若手医師達の能力向上を図る。また中堅医師達の指導者としての役割を果たす能力を付ける。	若手新生児科医	毎年講師約20名、参加者50名	1	教育セミナー	新生児医療に携わる若手医師達の能力向上を図る。また中堅医師達の指導者としての役割を果たす能力を付ける。	若手新生児科医	毎年講師約20名、参加者50名	1
	AJフェローシップ	若手新生児科医育成のため、卒後3～6年目の医師を対象に学術集会・懇親会・実技セミナーの参加費用を免除とする	若手新生児科医	全会員に告知、20名が対象となった	1	AJフェローシップ	若手新生児科医育成のため、卒後3～6年目の医師を対象に学術集会・懇親会・実技セミナーの参加費用を免除とする	若手新生児科医	全会員に告知、11名が対象となった	1
全社協・児童福祉部(全乳協担当)	「乳児保育」「全乳協ニュース」などの広報媒体	乳幼児の事故予防についての広報啓発	全国の乳児院のほか関係機関・個人	2000	15	「乳児保育」「全乳協ニュース」などの広報媒体	乳幼児の事故予防についての広報啓発	全国の乳児院のほか関係機関・個人	のべ370か所2千人	2回以上
全国保育協議会	平成22年度保育所保健・衛生専門研修会	保育所や乳児院での保健・衛生を中心とした取り組みについての知識等を学ぶ。	保育所の保育士、看護師、嘱託医、施設長、その他保育関係者および乳児院の関係者	590名	6/29～301回					
(社)全国訪問看護事業協会	小児訪問看護研修会	疾患と病態整理、小児看護の基本的理解、訪問看護ステーションにおける小児訪問看護の実際	訪問看護ステーション看護師	105	1回	小児訪問看護研修会	疾患と病態(含嚥下)、小児看護の基本的理解、訪問看護ステーションにおける小児訪問看護の実際	訪問看護ステーション看護師	80	1回(平成23年11月12日)